



## 原因と結果 見方・考え方次第で…。

校長 川浦 孝彦

右のような絵を見せ、子供たちに「皆さんはどう考えますか。」と問いかけると、「最悪。」「片付けなかった人だれ。」「どうしよう。」など、様々な声が聞こえてくるでしょう。踏んでしまったときは、気分のよいものではありませんね。で・す・が…。

もう何十年も前の話です。職員室で、ハトのフンが肩の上に落ちて大変だったという話をしていました。先輩教員から、「これからは、上にも注意しないといけないね。」と言われ、運が悪かったと思っていた私は、一瞬、「むっ。」としましたが、よく考え直してみるとその通りだと思い、それからは、電線があると見上げて、ハトがいるかいないか確かめ、ハトがいたときは、その下を歩かないように気を付けるようになりました。もちろん、その後はハトのフンが肩の上に落ちることはありません。もちろん、頭の上にも。



結果には原因があり、その原因の見方・考え方次第でこれからの行動や気持ちが違ってきます。運が悪かったでは、また同じようなことが起きてしまう可能性があります。原因を分析し、よりよい結果を導き出し、行動できるようになることが求められます。

本校では、「見方・考え方を働かせて」学ぶ理科学習について研修を深めています。例えば、物理分野の学習では、量的・関係的な視点で捉えること（モーターを速く回転させるためには、乾電池の数を増やせばよい。乾電池の数を増やすと回路に流れる電流は大きくなる。）を大切にしています。中教審教育課程企画特別部会では、多様な子供たちの「深い学び」を確かなものにするために「自ら人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成」が求められています。自然や社会の事象・言説について、タブレットを活用し、情報を共有、議論しながら、客観的・論理的に考察できるよう指導し、子供たちの学びを深めています。問題解決の過程を通して、「何を学ぶか。」から「どのように学ぶか。」を大切にしたい教育を推進します。

上記の絵の話と直結するわけではありませんが、見方・考え方次第で、人の成長は大きく変わります。ハトのフンが頭ではなく肩の上に落ちたのは、まだ、運が良かったという考え方もあります。私自身、大谷選手の「ゴミ拾いは運拾い」のような、運を味方にできる境地には至らず、まだまだ精進が必要です。話は本校の教育活動に戻します。「好き」を育み、「得意」を伸ばすことができる児童の育成を目指して、これからも取り組んでまいります。保護者の皆様、今後とも本校の教育活動にお力添えいただきますよう、よろしく申し上げます。





【 7月の目標 】  
1学期のまとめをしましょう

7月の予定

月・金:朝学習 火:フツ化物 水:朝会(各週) 木:集会

日	曜	行 事	各学年の時間					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	水	安全指導 校内研究授業3 (2-2のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4
2	木	安全指導集会 日光事前健診⑥ 南二道場8	5	5	5	6	6	6
3	金	着衣泳②④⑥	5	5	6	6	6	6
4	土							
5	日							
6	月	日光移動教室⑥始	5	5	5	5	6	6
7	火		5	6	6	6	6	6
8	水	日光移動教室⑥終	4	4	4	4	4	5
9	木	南二道場9 カヌー教室④⑥	5	5	5	6	6	6
10	金	読み聞かせボランティア①~③カヌー教室④⑤	5	5	6	6	6	6
11	土							
12	日							
13	月	校内研究授業4 (3-2のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4
14	火		5	6	6	6	6	6
15	水	朝会 避難訓練 (集団下校訓練のため14時頃下校予定)	5	5	5	5	5	5
16	木	水泳指導終 南二道場10	5	5	5	6	6	6
17	金	終業式 給食終	4	4	4	4	4	4
18	土							
19	日							
20	月	海の日						
21	火							
22	水	夏季休業日始 個人面談期間始						
23	木							
24	金							
25	土							
26	日							
27	月							
28	火	個人面談期間終						
29	水							
30	木							
31	木							

〈教師のつぶやき〉先日、日本のプロバスケットボールリーグ(Bリーグ)のシーズンが終わりました。私は、アルバルクという在京チームを応援しています。早く次のシーズンが来ないか待ち遠しいです。 by 飯島和大